

令和6年度学校評価結果の報告書

四国中央市立中之庄小学校

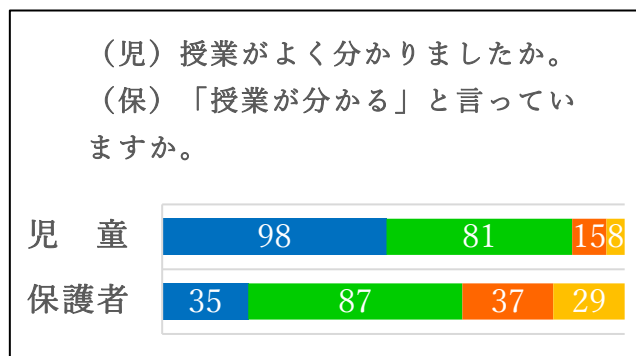
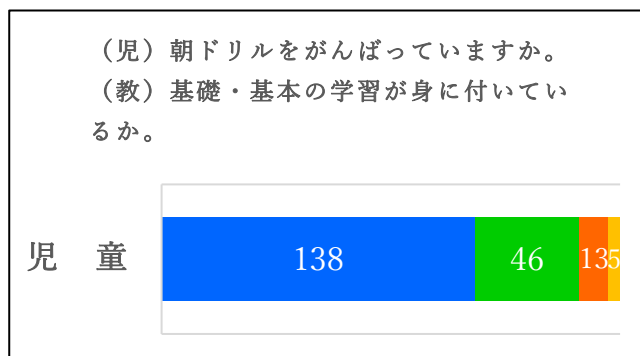
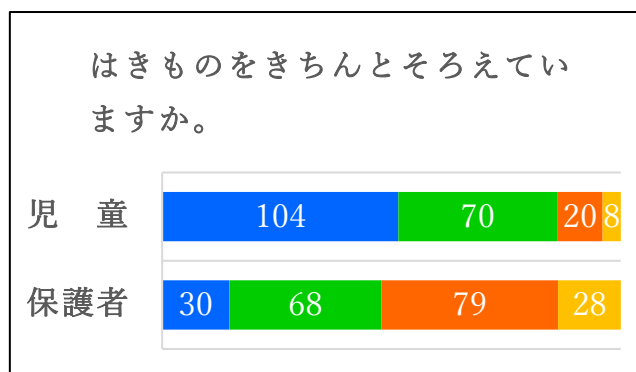
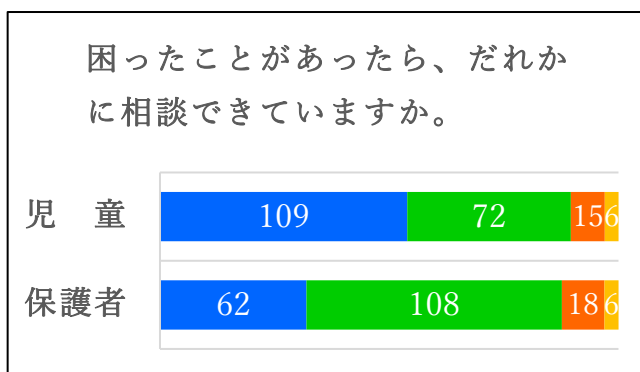
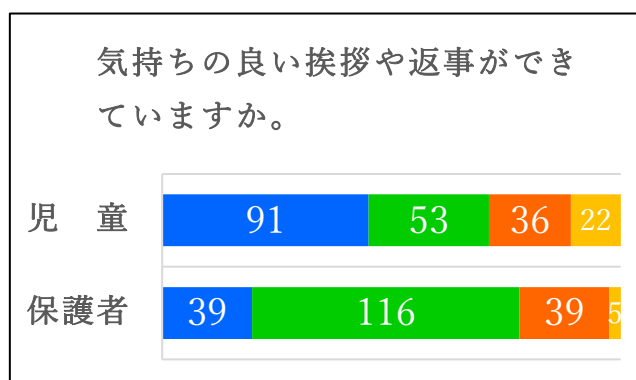
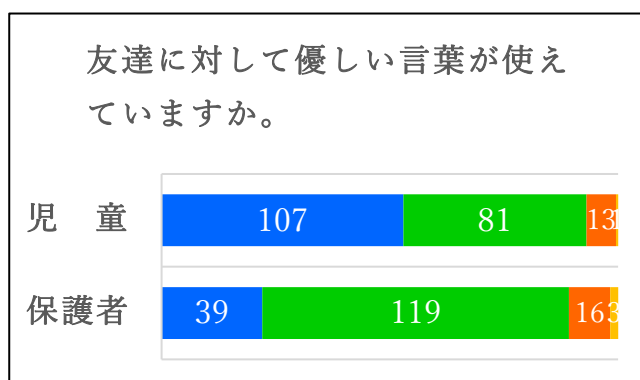
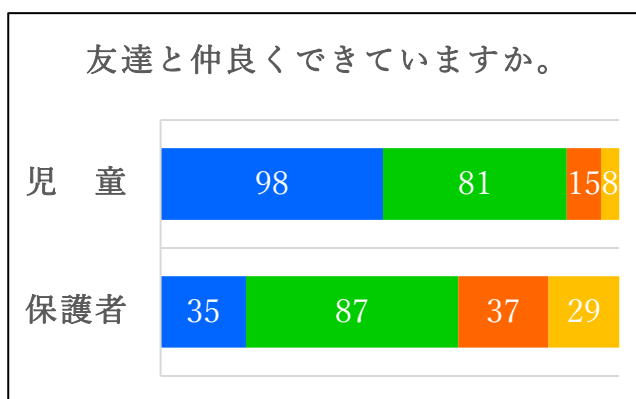
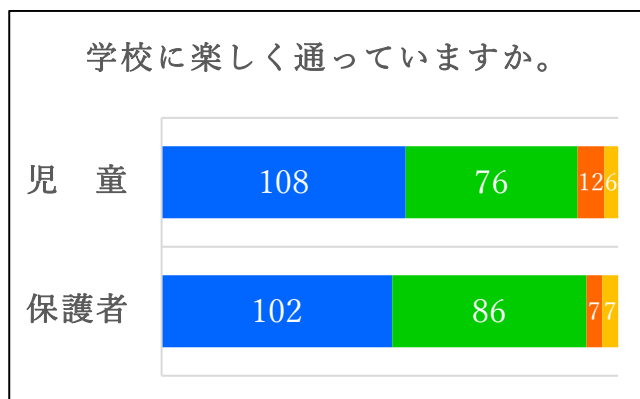
1 教職員による自己評価の集計結果

	項 目	評価 (%)			
		A	B	C	D
1	すべての児童に分かりやすく、楽しい授業になるよう努めている。	79	21	0	0
2	児童が、自分で計画を立てて、家庭で毎日学習するように指導している。	21	72	7	0
3	学校や家庭で読書するよう指導している。	40	60	0	0
4	児童に、毎日同じ時刻に起き、同じ時刻に寝るよう指導している。	65	23	12	0
5	児童に、朝食を食べてくるよう指導している。	76	18	6	0
6	児童に、地域の方に出会ったとき、自分から挨拶するよう指導している。	79	21	0	0
7	児童に、困ったことがあったら友達や先生に相談するよう呼び掛けている。	90	10	0	0
8	自分の思いや考えを、人に伝えることができるよう指導している。	79	21	0	0
9	児童の自尊感情を高めるよう指導している。	90	10	0	0
10	児童に、その児童の良いところを見つけて伝えている。	74	26	0	0
11	児童に、周りの人が困っているときは進んで助けるよう指導している。	79	21	0	0
12	児童に、交通ルールや学校のきまり、約束事をきちんと守るよう指導している。	95	5	0	0
13	児童に、将来の夢や目標を持つことの大切さを指導している。	63	37	0	0
14	職務に専念しつつも業務改善に努め、勤務時間にゆとりを生み出そうとしている。	42	53	5	0

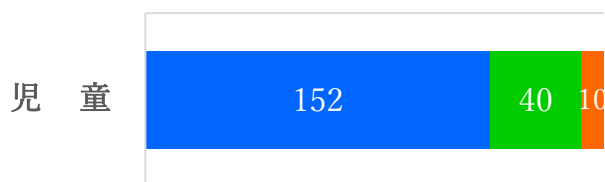
自由記述より

- 放課後学習の機会を多く確保し、個別学習を進めることができた。
- I C Tを有効活用できた。デジタルだけでなく、アナログ（書く活動）の時間も確保できた。
- 研究会や行事等で教員間の連携をとることができた。
- 地域ボランティアとの連携により、登校時の児童の挨拶が良くなっている。
- 音読カードや連絡ノート、電話連絡や家庭訪問等、きめ細やかに保護者と連絡をとり合うことができた。
- 学校、家庭、外部機関との連携を丁寧に行ったことで、教育相談や学びの場の選択肢を増やすことにつながった。
- 家庭学習に関しては、家庭との連携が不可欠である。課題の出し方や内容を工夫するとともに、保護者との関係づくりや、日々のやり取り、お便り等で呼び掛けを継続する必要がある。
- 図書室の利用が少ないので、学級で読書に親しむ時間を計画的にとったり、図書委員会の活動で呼び掛けたりする。
- ロイロノート等で作成した資料は、資料箱に残す等、次年度以降も活用できるようにする。
- 早寝・早起き・朝ごはんについては、継続的な指導と保護者への啓発を行っていきたい。
- 業務の精選と効率化を図り、超過勤務時間45時間以内に向けて組織的に取り組みたい。

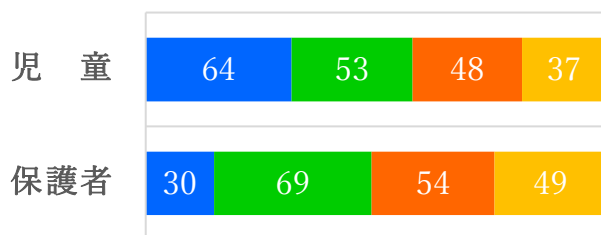
2 保護者アンケート・児童アンケート



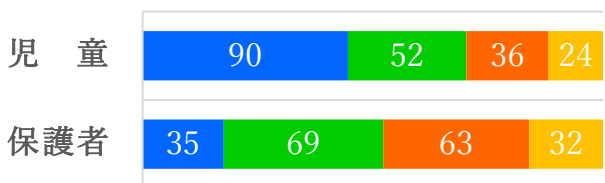
授業のめあてやまとめをきちんと
と書きましたか。



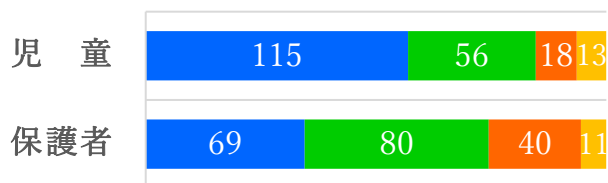
進んで読書をしていますか。



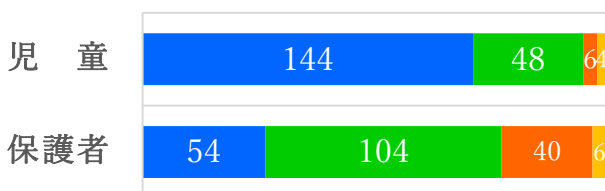
家庭で、学年の目標時間以上の
学習をしていますか。



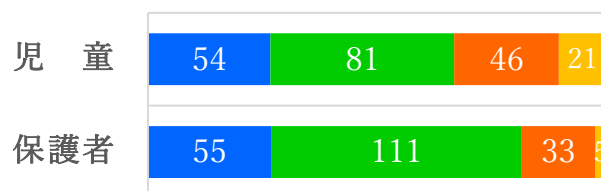
外に出て元気に遊び、体力がつ
いていますか。



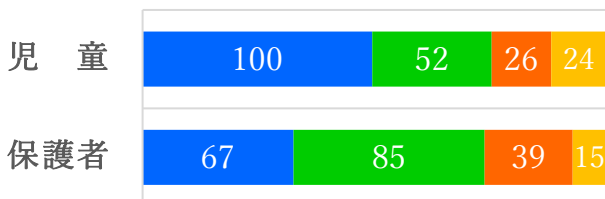
けじめのある生活ができていま
すか。



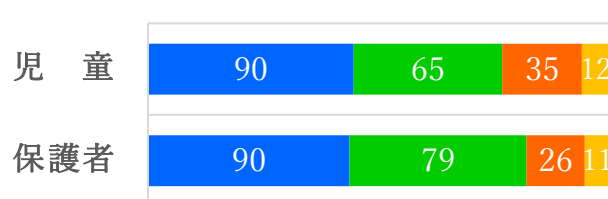
決まりをきちんと守れています
か。



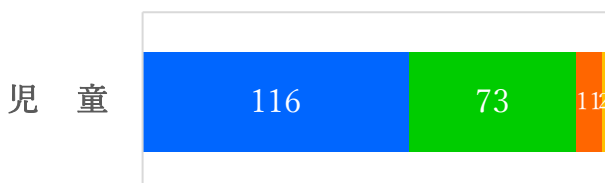
ゲームやパソコンを使うときのル
ールを決めて、守れていますか。



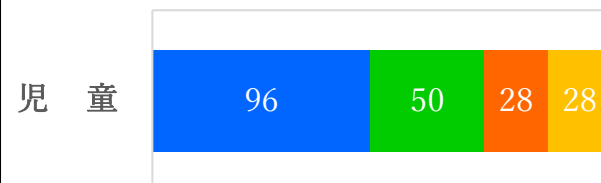
「早寝・早起き・朝ご飯」がで
きていますか。



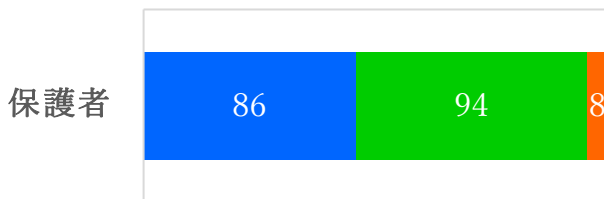
進んで清掃に取り組んでいます
か。



進んで学校や学級のために働く
ことができますか。



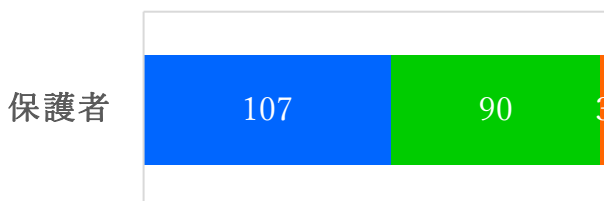
学校は、気持ちよく生活するための指導を適切に行っていますか。



学校は、お子さんや保護者の方の相談に丁寧に対応していますか。



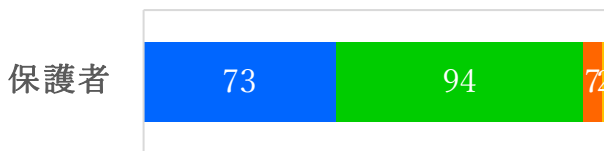
学校は、ホームページやお便り等で情報発信に努めていますか。



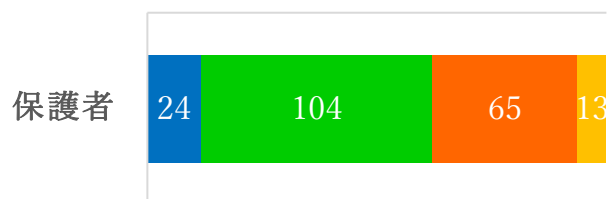
学校は、連絡帳や音読カードでご家庭との連絡を図っていますか。



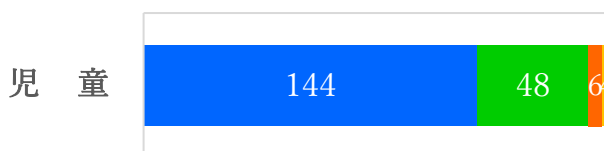
学校は、いじめやトラブルに対して、早期発見・早期対応に取り組んでいますか。



お子さんと、災害に備えての話し合いをしていますか。



放送や避難訓練など、しゃべってはいけないときに黙ることができましたか。



(1) 考察

ア 学力に関すること

- 「授業がよくわかりましたか」の設問については、約9割の児童が肯定的な回答をしている。しかし、「どちらかといえばよくできた」の割合が少し増えており、児童が学力の定着を実感できる取組を進めていく必要がある。引き続き、「読む」「書く」「話す・聞く」を大切にしながら、ICTのより効果的な活用を図り、授業改善に努めていく。また、2学期から取り組んでいる朝ドリルの時間の充実とeスタの活用推進とともに、放課後学習などの個別学習についても対応を進めていく。

- 「進んで読書をたくさんしましたか」の設問については、保護者の肯定的な評価の割合が大きく上昇した。学校でも、「校長先生おすすめの本」を毎月紹介し、児童が興味を持つような展示をしたり、委員会活動として読書ビンゴを実施したりと、児童が読書に興味・関心を持てる環境づくりに努めている成果であると考え。今後も児童が読書の楽しさを感じられるような取組を進め、家庭へも協力を求めていく。
- イ 学校生活に関すること
 - ゲームやパソコンの時間に関する設問では、保護者の方の肯定的な評価の割合が増加した。学校では、高学年の児童を対象に情報モラル教室を実施し、各学年段階に合わせて情報機器を利用することによる身体への影響やプライバシー保護についての学習をしている。今後も、スマートフォンやインターネットを安全に利用するための指導を継続し、家庭へも情報機器の正しい使い方や使用時間について話し合い、きちんとルールを決めて守ることができるよう、協力を求めていく。
 - 「いじめやトラブルに対して早期発見・対応に取り組んでいるか」の設問に対しては、保護者の方からの肯定的な評価の割合が増加した。改善すべき点を全教職員で共有し、児童との信頼関係を築き、保護者の方との連携をさらに進めていく。また、定期的な「生活を明るくするアンケート」の実施や、担任と児童との一対一での教育相談等を継続しながら、楽しく安心して学校生活を送れるようにしていきたい。
- ウ 防災に関すること
 - 「お子さんと災害に備えた話合いをしている」と回答した保護者が約6割を超え、大きく割合が増加した。また、「放送や避難訓練など、しゃべってはいけないときに黙ることができた」と回答している児童の割合も、高い水準を維持している。関係機関と連携した避難訓練・防災学習を行ったり、防災の観点を意識した集団下校を継続したりすることで、児童の防災意識が高くなっていると考えられる。2学期には、5年生が作成した防災ファイルを保護者や地域に配付して啓発を図る取組も行った。今後も、地域や保護者と連携しながら、防災意識の向上をさらに図っていく。

(2) 保護者からの意見と学校としての対応

- 学習環境についてご意見があった。
 - 落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学年または学校全体として、各学級の状況を共有しながら、必要に応じてサポートしている。教育活動全体を通して、相手を大切にすする心の育成や行動の仕方について考える学習も進めながら、より一層、児童との信頼関係づくりに努め、全ての児童が気持ち良く学校生活を送れるようにしていく。
- 服装の規定についてのご意見があった。
 - 今年度、靴下の色の選択肢を広げたり、熱中症対策として日傘やネッククーラーの使用を許可したりと、子どもたちが学習に集中しやすい環境をつくる観点からルールの見直しや変更を行った。現在、来年度へ向けて、制服の選択肢を広げる案を検討しているところである。今後も、頭髪や服装、持ち物等のルールについて必要に応じて検討し、変更がある場合には、学年便り等を通して、随時知らせていく。
- 長期休業中の宿題についてのご意見があった。
 - 宿題の内容や量に関しては、学年の発達段階や学級の実態等に応じて調整しているが、内容的に難しいと感じることがあるかもしれない。長期休業中に関わらず、普段の宿題についても、心配や気になる点などがあった場合、学校まで相談いただくよう呼び掛けていく。
- 給食時のルールについてのご意見があった。
 - 現在は、友達と楽しく会食することと並行し、校内放送時や〇時〇分以降を黙食にするなど、時間内に食事を終えるための会食ルールを学級の実態に応じて設定している。子どもたちが食育について学びながら、健康的な食生活の基礎を築くことができ、安全・安心な給食の時間となるよう、今後も工夫していく。

3 学校運営協議会の評価

	項 目	評価 (4点中)
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	3.69
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	3.46
3	教育活動や評価結果に対して、分かりやすく情報提供できているか。	3.76
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	3.23
5	学校運営協議会は、適切に運営されているか。	3.69
6	教職員は、児童の生活習慣の確立や分かる・できる授業づくりに努めているか。	3.53
7	教職員は、児童の健全育成、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいるか。	3.69
8	学校は、安全で安心な学校づくりを進めているか。	3.76

学校運営協議会委員からの意見

- 校長先生を中心に、教職員が少しでもよりよい学校にしようと、日々の営みをこつこつ続けていることがよく分かる1年だった。アンケート結果から、保護者から信頼されていることがよく分かる。少数意見にも目を通しながら、さらにより人間関係の構築を目指して欲しい。
- 学校だよりからも、子どもを大切にしていること、保護者・地域との結び付きを大切にしていることがよく分かる。毎回、興味深く読ませていただいた。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の3つのうち、どれができて、どれができていないのか、細分化して調べてもよい。
- 地域の方のボランティア活動が、今年度できるようになったことがよかった。放課後等、児童の学習支援についてもお手伝いできるとよい。
- 運営協議会の資料が見やすくなった。
- 保護者や地域の人々で協力できることはどんどんやって、先生方の勤務状況の改善ができればよい。

4 次年度に向けての改善方策

- 標準学力調査の分析結果等を活用し、各教科、各単元で重点的に指導する事項を明確にした授業づくりを進める。朝ドリルや放課後学習を中心にした個別指導の時間を充実させ、基礎・基本の定着を図る。
- 全学年において防災学習を行うとともに、防災に関する参観日の実施やホームページでの発信など、家庭や地域への啓発を行う。
- 地域ボランティアに技能教科の補助や校外活動の引率、校内美化作業等への協力を継続していただき、教職員の負担軽減を図る。
- 気持ちの良い挨拶が飛び交う学校を目指し、児童の主体的な活動を取り入れるだけでなく、地域ボランティアと連携し、よくできている児童を積極的に称揚するなど、指導を継続する。
- コロナ禍で削減されたり変更されたりしたPTAの各部の活動について、本部役員と協議し、内容の改善を行う。